

14. おいたち

慶長年間 (1596~1614)	この頃テシホ場所設置<休明光記>, ルルモッペ場所もこの頃開設される。	文久元(1861)	の人小川藤太郎来村して漁業に従事、この頃は越年する者なし
寛永 11 (1634)	松前景広(藩主慶広の六子)ルルモッペ場所の知行主となる。		庄内藩士農職人ルルモッペに移住。開墾開始松前郡福山の人岡田伝五郎、漁業家に投資して鬼鹿、天登雁両村に於て漁業を経営させ、900石積の和船を購入して輸送を助ける
貞享年間 (1684~88)	この頃トマイ場所(ルルモッペも同一場所か)に工藤家の鷹待場知行地あり<工藤家年々秘録>	同 2 (1862)	この頃から漁民の越年始まる
元禄 2 (1689)	トマイ交易場所(ルルモッペも同一場所か)	同 3 (1863)	農民又蔵、オピラシベ開墾に着手
	工藤瀬兵衛の知行地となり、以後松前藩士工藤家の世襲地となる<工藤家年々秘録>	慶応元(1865)	福島村の人花田伝七来村して漁業を経営
正徳 4 (1714)	オニシカ(ボンオニシカ)に弁天社創建	同 2 (1866)	金谷善吉、中塚金十郎出漁業開始
享保年間 (1716~36)	この頃トマイ・ルルモッペは福山の御用商人(近江商人)二代岡田弥三右衛門の請負場所となる。	同 2 (1866)	2月2日、鬼鹿の漁場で32人海死<古平町禅源寺銘銘文>
寛延 3 (1750)	三代村山伝兵衛、ルルモッペ場所をせ負う	明治元(1868)	オピラシベ川上流の炭鉱開採、出炭量少なく廃業
安永 8 (1779)	ルルモッペ場所、工藤平右衛門の知行地から松前藩の直領に移管		明治維新により庄内藩士農職人引揚げる
	この年西蝦夷トマイ迄包瘡流行、ルルモッペ場所のみ患者なし	同 2 (1869)	増毛の商人八川喜七、ヲピラシベの石炭を試掘
天明 6 (1786)	オニシカ(ボンオニシカ)に厳島神社創建	同 3 (1870)	ルルモッペ場所は天塩国留萌郡となる
同 7 (1787)	六代栖原角兵衛ルルモッペ、トマイの両場所を請負う	同 4 (1871)	留萌郡、山口藩の支配地となる。藩、栖原の場所請負を廃止して出稼に任命
文化 4 (1807)	西蝦夷地、幕府の直轄領となる		興聖寺(曾洞宗説教所)建立
	幕府小普請方近藤重蔵がこの地方を巡視	同 3 (1870)	山口藩開拓に着手
文化年間 (1804~18)	この頃間宮林蔵この沿岸を測量(伊能忠敬の全島沿岸実測図として完成)	同 4 (1871)	山口藩、40余人を派遣してヲピラシベ上流の石炭開採
文政 4 (1821)	幕府、蝦夷地を松前藩に返還	同 5 (1872)	山口藩の留萌郡支配被免、開拓使の管轄となる
天保 11 (1840)	マシケ以北の出稼許可され、江差、福山、南部、津軽地方の漁民この地方にも姿を見せはじめる	同 6 (1873)	栖原半七、天塩国一円の漁場持となる
弘化元(1844)	福山の人甲崎久右衛門、オンネオニシカ(鬼鹿)に出稼に来て初めて漁業を経営	同 7 (1874)	開拓使宗谷支庁留萌出張所設置
嘉永 2 (1849)	福島の人金沢元兵衛、西沢繁次郎、福島の人小林半七来村して漁業を経営	同 8 (1875)	宗谷支庁を留萌へ移転し留萌支庁と改称
安政元(1854)	福島村の原田(後の西沢)繁次郎、漁業者を引連れて天登雁村に初めて鯨漁場を開く	同 9 (1876)	岡田伝五郎、天登雁に漁場を経営
同 2 (1855)	蝦夷地再び幕府領となる	同 12 (1879)	開拓使のお雇アメリカ人ライマン、地質調査のためこの地方を踏査
	ルルモッペ場所は秋田藩の警備地となり、ルルモッペに箱館奉行支配調役一人、下役一人同心三人在勤。栖原の場所請負は継続	同 7 (1874)	留萌郡初代戸長に堀内喜八就任
同 4 (1857)	原田(後の西沢)繁次郎、天登雁村に稲荷神社建立	同 8 (1875)	鬼鹿郵便局開設
	東津軽郡野内村の人赤坂千松、千松沢に来て漁業を経営	同 8 (1875)	留萌支庁を廃し本庁の管轄とし、留萌に出張所を置く
同 5 (1858)	ルルモッペ詰下役金井満五郎、ヲピラシベ川上流の石炭調査	同 9 (1876)	鬼鹿駅通所設置
同 6 (1859)	この地方の出稼漁民増加	同 12 (1879)	留萌出張所を廃し、留萌分署を置く
	村井三太郎、オピラシベ川渡守として来住	同 13 (1880)	北海道大小区制を廃止し郡区町村を置く
	ルルモッペ、トマイ場所、庄内藩の支配地となる	同 14 (1881)	厳島神社(天登雁村字番屋の沢)村社と公称
	福山の人関寺庄太郎天登雁に来て漁業に従事	同 15 (1882)	2月、天登雁村字番屋の沢に鬼鹿村、天登雁村戸長役場を設置初代戸長に出増尚機就任
万延元(1860)	庄内藩幕府より領地を引継ぐ、栖原の場所請負継続	同 16 (1883)	この年の戸口、三泊村 52 戸、519 人天登雁村 31 戸、667 人鬼鹿村 62 戸、892 人
	松前郡福山の人住吉保蔵、東津軽郡蟹田村	同 17 (1884)	鬼鹿天登雁両村連合小学校(明治 15 年温寧学校、さらに明治 30 年鬼鹿小学校と改称)開設
		同 18 (1885)	留萌郡役所を増毛に移し、増毛郡役所と改称
		同 19 (1886)	温寧の潤(現鬼鹿港)に杭を建て和船の碇泊の便をはかる
			小樽の人大竹作右衛門、小平薬川流域の石炭調査に着手
			戸長役場を温寧市街に移す
			三泊小学校開校
			鬼鹿に住吉旅館開業
			鬼鹿村巡査駐在所設置
			北海道庁設置
			鳥取県人宿院信児、山本国太郎等茶俊内に移住し農漁業を経営

同 20 (1887)	留萌水産組合設立 栖原家、漁場の鯨焚釜の築築造法を改良 大竹作右衛門、ヲキナイ上流の石炭開採 鬼鹿に浄土真宗本願寺派仮説教所(真教寺) 開設	同 36 (1903)	鬼鹿村外一村戸長役場庁舎新築 鬼鹿村理髪業保健組合、鬼鹿村旅人宿業組 合産馬組合鬼鹿分区創立 鬼鹿村の県道(海岸道路)開通 小平薬川北の植民道路開さくすすむ
同 21 (1888)	440 円の寄付金により和尻トンネル(大正 2 年真砂トンネルと改称)開さく		天登雁村の花田伝七、鯨沖揚機を導入 花田伝作(伝七の弟)、天登雁、浜中の各 漁場及び大楸子牧場へ電話を架設
同 23 (1890)	小平薬原野の土地貸下開始 鬼鹿消防組創設 鬼鹿に遊廓設置許可		小楸子教育所開設(大正 5 年小楸子小学 校、昭和 11 年豊岡尋常小学校)
同 24 (1891)	留萌郡鯨漁獲高史上最高の 79,000 石、記録	同 37 (1904)	5 月、茶俊内の大火で 20 戸焼失 日露戦争開始(38 年終結)
同 25 (1892)	5 月 28 日、鬼鹿市街火災、9 戸焼失 鬼鹿に日蓮宗実相寺創建 鬼鹿に浄土宗天応寺創建		原野 21 線に官設渡船場設置 原野 11 線の渡船場官設となる
同 26 (1893)	鬼鹿に劇場共栄座開業 花田伝七漁業改良を行う 茶俊内の沢で水稻試作 日清戦争開始(28 年終結)	同 38 (1905)	鬼鹿に官設中森駅通所開設 天登雁村の小川藤太郎、鯨沖揚機導入 小平薬原野(折真布)に宮城団体入植
同 27 (1894)	道庁、小平薬原野の植民地撰定事業実施 田中北海道鉱山株式会社、小平薬区の石炭試 掘開始 温寧小学校茶俊内簡易科分教場開設(28 年 正式許可、32 年茶俊内尋常小学校、昭和 11 年豊浜尋常小学校) 鬼鹿漁業組合規約書認可	同 39 (1906)	4 月 1 日、天登雁村を廃止し鬼鹿村に併合 鬼鹿村に二級町村制施行 6 月 13 日、小平薬原野岐阜団体の共同仮 小屋(47 戸入居)全焼 花田伝作牧場開設 産馬組合鬼鹿分会開設 小平薬に浄土真宗西念寺創建
同 28 (1895)	7 月 8 日、温寧川氾濫し市街地家屋 3 戸流失 三泊村に留萌警察分署駐在所を設置 道庁、小平薬原野を区画測説し、明治 29 年 中に 310 画貸下を告示	同 40 (1907)	この年の鬼鹿村戸口 571 戸、2981 人 4 月 1 日、三泊村を廃止し留萌村に併合 留萌村に一級町村制施行 小平薬原野御料農地(1~24 線)貸下 小平薬原野(折真布)に津軽団体、岩手団 体、仙台団体入植 留萌漁業組合、鬼鹿村漁業組合設立 小平薬原野 19 線に小平薬巡査駐在所開 設
同 29 (1896)	小平薬原野解除され、石川、奈良、秋田、岩 手、富山の各県および東京府の団体移民入植 を開始し、本格的な開拓が始まる 鬼鹿の真宗大谷派竹園寺、寺号称号		鬼鹿村衛生組合創立 12 月 5 日、大時化のため鬼鹿市街浜通浸 水家屋 30 戸、倒・半壊家屋多数
同 30 (1897)	道庁、明治 31 年よりトドコ原野の区画地貸 下を告示	同 41 (1908)	6 月 11 日、留萌村に町制施行 巖島神社(村社)を鬼鹿に移転 小平薬郵便局開局 鬼鹿森林監守駐在所設置 留萌町消防組組織変更 第三部を大字三 泊村とす
同 31 (1898)	石川県団体移民、大トドコ原野に入植し開拓 始まる 6 月 13 日鬼鹿市街で火災、30 余戸焼失		小平薬第一尋常小学校所属御料第一特別 教授場開校(大正 6 年達布尋常小学校) 小平薬第一尋常小学校所属御料第二(特 別)教授場開校(昭和 8 年滝下尋常小学校、 同 38 年滝下小学校)
同 32 (1899)	宇野宗松、沖内で稲作を始める	同 42 (1909)	小平薬原野(折真布沢奥地)に岐阜団体入 植 道庁補助定期船(礼文丸)鬼鹿港へ寄港開 始 寧楽に巡査駐在所設置 花田伝作、小形汽船を購入して漁船の曳船 に使用開始
同 33 (1900)	鬼鹿村農会創立 小平薬第一簡易教育所開設(明治 34 年小平 薬第二簡易教育所、同 41 年小平薬第一尋常 小学校、大正 5 年小平薬尋常小学校、昭和 22 年本郷小学校)		国鉄留萌線(深川一留萌間)開通 小平薬郵便局で電信事務開始 鯨未曾有の凶漁 御料農地の幹線道路完成 10 月、鬼鹿市街で 4 戸焼失
同 34 (1901)	大楸子簡易教育所開設(大正 5 年大楸子尋 常小学校、昭和 11 年大楸子尋常小学校) 小平薬第二簡易教育所開設(明治 41 年小 平薬第一教育所、大正 3 年小平薬第二尋常 小学校) 同 5 年川尻尋常小学校、昭和 8 年小平中央 尋常高等小学校、同 23 年小平小学校(小 平小学校沿革) 小平薬原野 9 線、13 線に官設渡船場設置	同 43 (1910)	
同 35 (1902)	4 月 1 日、礼受村を廃止し留萌村に合併 留萌村、三泊村に二級町村制実施され、留 萌村三泊村組合役場設置 小平薬第三教育所開設(大正 5 年寧楽尋常 小学校) 留萌村農会創立 鬼鹿村水産組合創立		

同 44 (1911)	地質調査所、小平薬川流域の炭田予察調査実施 鬼鹿村火災予防組合創立 小平薬第一尋常小学校所属御料第三教授場開設(大正6年達布尋常小学校川上特別教授場、昭和9年川上尋常小学校) 小平薬第一教育所鬼泊特別教授場開設(昭和9年鬼泊尋常小学校、昭和22年花岡小学校)	同 4 (1929)	小平薬信用購買販売利用組合創立 小平薬達布土功組合設立 鯉凶漁 国鉄羽幌線鬼鹿・力屋間竣工
大正元 (1912)	県道オピラシベ・トドコ間道路拡張工事起工折真布に曹洞宗天瑞寺建立 小平薬第一尋常小学校所属折真布特別教授所開設(大正2年折真布教育所、大正5年折真布尋常小学校)	同 5 (1930)	小平、臼谷、鬼鹿市街地区電化実現 農産物価格大暴落し離村者続出 小平薬村公益質屋経営開始 小平薬蓄牛組合設立
同 2 (1913)	和尻トンネル開さく工事実施。真砂トンネルと改称 小平薬川高砂橋竣工し渡船場廃止 折真布養蚕組合設立 大凶作	同 6 (1931)	不況と未曾有の凶作のため農家の疲弊其の極に達す。不況・凶作対策の土木事業実施 温寧土功組合設立 鯉豊漁 冷水害のため凶作。凶作対策、救済事業実施
同 3 (1914)	支庁を増毛から留萌に移し留萌支庁と改称	同 7 (1932)	小平薬神社建立 自治制施行(小平薬村開村)15年挙行 小平市街に商店会結成 鯉豊漁、農作物平年作
同 5 (1916)	臼谷沢特別教授場設置 8月13日、小平薬原野一線で11棟12世帯焼失 小平薬郵便局全焼 小平薬第一尋常小学校全焼	同 8 (1933)	鯉大豊漁 冷害凶作。農家の疲弊困窮筆舌に尽し難い状況となる 臼谷船入濁築設工事、小平薬川切替工事着工
同 6 (1917)	鯉未曾有の凶漁 坂田農場で薄荷栽培はじまる 荷馬車普及	同 9 (1934)	鯉凶漁、農作物冷害凶作、住民の疲弊窮迫其の極に達する 農山漁村振興費による臼谷船入濁築設工事竣工 折真布第一負債整理組合設立 鬼鹿村字地番改正実施
同 8 (1919)	7月1日、二級町村小平薬村独立し、村役場を臼谷に置く	同 10 (1935)	鯉凶漁 鬼鹿漁港築設工事着工 小平薬川切替工事(住民救済事業)実施 温寧川切替工事着工 達布診療所竣工
同 9 (1920)	3年連続の不作と農産物価格の低落により農家の生活窮迫 地質調査所、小平薬川南部炭田調査実施 臼谷船入濁着工	同 11 (1936)	1月、小平薬村字地番改正実施 小平薬村村章制定 鯉凶漁 日中戦争勃発し動員令。小平薬村銃後後援会結成 高砂橋竣工 川上・記念別間道路工事竣工
同 11 (1922)	小平薬第一土功組合組織 留萌一羽幌間乗合自動車営業始まる 地質調査所、小平薬川北部炭田調査を実施	同 12 (1937)	鯉未曾有の凶漁、多年の凶漁により漁家経済窮迫 天塩炭鉱鉄道株式会社設立 小平薬村分村20周年記念式典挙行 達布方面の電化実現
同 12 (1923)	国鉄羽幌線建設工事着工 鬼鹿漁港修築につき国会に建議 小平薬原野10線に村医院舎新築	同 13 (1938)	小平商業組合設立 小平市街電話開通 天塩炭鉱鉄道建設着工 北海道炭礦汽船株式会社天塩礦(栄坑)開礦 消防組を消防団に再編成 重要作物の作付と供出割当はじまる
同 13 (1924)	小平薬村役場庁舎を小平薬川尻に新築移転	同 14 (1939)	北炭天塩礦(寿坑)、天狗炭礦、新美唄炭礦開礦 太平洋戦争開始
同 14 (1925)	国鉄羽幌線留萌・大樫間竣工	同 15 (1940)	帝室林野局旭川支局小平薬出張所(22年小平薬営林署、23年達布営林署)開設 御料農地開放
昭和元 (1926)	小平薬中央土功組合設立 寧楽ダム建設着工 国鉄羽幌線大樫・鬼鹿間着工 1月、鬼鹿市街で15棟全焼、12月、小平市街で10棟全焼	同 16 (1941)	
同 2 (1927)	鯉豊漁 臼谷尋常小学校開校 国鉄羽幌線留萌・大樫間開業 13線、22線、御料4、5線間の官設渡船場廃止、御料11線渡船場は村営となる 小平薬郵便局を川尻から1線に移す 達布尋常小学校上記念分教場開設(昭和24年廃校)		
同 3 (1928)	国鉄羽幌線鬼鹿・力屋間着工、大樫・鬼鹿間竣工し開業 小平市街でラジオの聴取始まる		

同 17 (1942)	練凶漁 天塩炭鉱鉄道留萌・達布間 25 キロ全通	同 28 (1953)	12 月、千松で 2 棟焼失、死者 1 名 小平村土地改良区設立 (3 土地改良区合併)
同 18 (1943)	練豊漁		7 月 31 日～8 月 1 日、豪雨のため寧楽ダム 欠壊
同 19 (1944)	練大豊漁 練豊漁 小平商業組合を統制組合に改織 両村に農業会発足 (農業組合、農事実行組合、 畜産組合を統合)	同 29 (1954)	鬼鹿市街大洪水で被害甚大 小平村役場寧楽支所開設 小平村農業協同組合設立 (村内 4 農協合併) 有線ラジオ組合を統合し村営とする 臼谷漁港修築工事着工
同 20 (1945)	太平洋戦争終結 練豊漁 達布炭礦の朝鮮人労働者蜂起し、進駐軍来り 鎮圧 樺太引揚船小笠原丸、第二新興丸、泰東丸留 萌沖で襲撃され遭難 大阪及び海外引揚者の集団入植、緊急開拓始 まる 森林鉄道の建設開始 冷害凶作		9 月の台風 15 号の被害甚大 小平村役場新庁舎落成 寧楽ダム復旧工事完成 国保小平診療所落成
同 21 (1946)	天塩炭鉱鉄道労働組合結成	同 30 (1955)	5 月、鬼鹿漁港浜小屋から 2 度出火、23 棟 焼失 練開村以来の凶漁、以後、この沿岸からほと んど姿を消す 原野 6 線競馬場を廃止し防風林植樹 小平村産業開発期成会発足
同 22 (1947)	練豊漁、稲凶作 農地改革始まる 第一回村長公選により小平薬村太田照雄、鬼 鹿村近藤武雄当選 練凶漁 小平薬村役場達布支所開設		7 月、豪雨のため被害甚大 8 月 9 日、鬼鹿村港町に大火災発生、全焼 49 棟、罹災世帯 64 10 月、小平村開拓 60 周年記念式挙行 小平村公営住宅の建築事業着手 高砂部落の電化実現
同 23 (1948)	住吉、沖内、寧楽の炭礦開発 1 月 1 日、小平薬村の名称を小平村と改める。 2 月 23 日、小平駅前通り小平劇場から出火、 数件焼失 村役場本郷支所開設 本郷小学校沖内分校開設 (昭和 36 年沖内小 学校) 達布小学校新生分校設置 (24 年新生小学校、 28 年廃校) 小平村開村 30 周年記念式典挙行 留萌高等学校発足	同 31 (1956)	9 月 30 日、鬼鹿村を廃止して小平村に編入 本郷部落電化実現
同 25 (1950)	鬼鹿村開村 70 周年記念式挙行 練豊漁 鬼鹿漁港竣工 寧楽中学校、東和中学校設置 沿岸バス羽幌ー留萌間運行開始	同 32 (1957)	11 月、達布で火災、1 棟焼失、死者 3 名 新農山漁村振興建設指定村となる (32、33 年度に事業推進) 鬼鹿農協を小平農協に統合 小平村福祉社会建設実践会活動発足 小平森林鉄道廃止 (33 年撤去完了) 土地改良区の地区変更 (小平薬川流域全域を 吸収) 農村電化始まる 留萌高等学校鬼鹿分校新校舎落成、鬼鹿中学 校より移転
同 26 (1951)	本郷中学校折真布分校 (36 年折真布中学校) 北海道留萌高等学校鬼鹿分校設置 北炭天塩炭礦閉鎖し、天塩炭鉱鉄道株式会社が 北炭より採炭事業を引継ぐ 達布土功組合が達布土地改良区となる 住吉炭礦労働組合結成 練凶漁 本郷到有線ラジオ組合設立 鬼鹿港、第二種漁港に指定	同 33 (1958)	土地改良区の地区変更 (小平薬川流域全域を 吸収) 農村電化始まる 留萌高等学校鬼鹿分校本郷分室開設 (43 年 閉鎖) 鬼鹿支所庁舎落成 滝下部落電化 小平・達布間冬期除雪開始
同 27 (1952)	小平森林鉄道全通 練豊漁 鬼鹿漁港浚渫工事実施 (27～29 年) 臼谷港第一種漁港に指定 第一土功組合、中央土功組合が土地改良区と なる 小平村農業協同組合設立 達布小学校瑞穂分校設立 (39 年閉校)	同 34 (1959)	新村建設計画改訂 (38 年度を目標年度とす る) 留萌高等学校鬼鹿分校本郷分室開設 (43 年 閉鎖) 鬼鹿支所庁舎落成 滝下部落電化 小平・達布間冬期除雪開始
		同 35 (1960)	花岡小学校を小平小学校に統合 留萌高等学校鬼鹿分校、村立鬼鹿高等学校に 昇格 鬼鹿高等学校寧楽分室開設 (38 年閉鎖) 小平村商工会設立 天鉄バス留萌・達布間定期運行開始 中央橋竣工 (住吉) 小平小学校体育館落成 花岡部落電化
		同 36 (1961)	4 月、本郷で 1 棟焼失、死者 1 名、旭町で 7 棟焼失 遠別・沼田間産業開発道路着工 NHK 留萌テレビ放送局開局 7 月、住吉炭礦選炭場焼失 12 月、本郷で 2 棟焼失、死者 3 名
		同 37 (1962)	

同 38 (1963)	留萌信用金庫鬼鹿支店開設 平和橋(本郷)竣工 小平市街国道舗装工事完成 鬼鹿、小平郵便局新築 鬼鹿小学校新築工事完成 小平村産米十萬俵突破記念式挙行	本郷小・中学校にプール完成 町立鬼鹿高等学校廃校 小平町福祉センター完成 小平中学校新校舎完成 第二種臼谷漁港完成 国道小平トンネル開通	
同 39 (1964)	鬼鹿・臼谷漁業協同組合併し小平漁業協同組合発足 小平市街簡易水道通水 折真布橋完成 留萌青年の家落成(開所式40年1月、落成式40年4月)	同 46 (1971)	真砂トンネル迂回道路完成(真砂トンネル閉鎖) 3月、港町で1棟焼失、死者1名 特別豪雪地帯に指定される 沖内小学校が本郷小学校と統合 鬼鹿小学校にプール完成 米の生産調整第二年休耕891ha 開拓の碑建立 寧楽母と子の家完成 鬼鹿歯科診療所開設 望洋台ユースホステル完成 町道小平市街線舗装工事始まる 低温により水稻被害発生 元浜町営牧場団体営事業着工 旧花田家番屋が国重要文化財に指定
同 40 (1965)	大楸簡易郵便局開局 開発道路遠別・沼田線の昭和・達布間開通 役場達布支所新築 達布小学校校舎落成 小平町簡易水道浄水場新設工事完成 温寧橋、沖内橋架替工事完成	同 47 (1972)	振興山村地域に指定なる 山村振興地域農林漁業特別開発事業始まる 自然休養村指定決まる 青少年旅行村指定決まる 望洋台キャンプ場オープン 達布地区農業構造改善事業始まる 鬼鹿公民館完成 小平町民プール完成 市町村職員共済組合憩の家(望洋荘)完成 北海道ボーイスカウト大会開催(8月3~6日) 自然休養村センター完成 望洋台スキー場完成 公立鬼鹿幼稚園開園 元浜町営放牧場利用始まる きのご類培養施設完成 寧楽中学校が小平中学校と統合 公立小平幼稚園開園(園舎新築) 青少年旅行村開村落成式望洋台キャンプ場で開催 野菜類集出荷貯蔵施設完成 鬼鹿中学校新築第一次工事完成 重要文化財花田家番屋復元事業解体工事始まる 元浜町営牧場完成する 小平局電話ダイヤルにかわる 川上部落小平市街に集団移転、川上小学校閉校となる 留萌消防組合設立。小平、鬼鹿に支署、達布に分遣所を置く 達布幼稚園開園 アイボリーメロン栽培始まる 小平町内国道舗装工事完成 鬼鹿中学校、寧楽小学校舎新築工事完成 千松礁漁場造成工事始まる 山本敏雄氏(字寧楽)が新嘗祭の献穀農家として選定される 鬼鹿局電話ダイヤルにかわる 北海道農業開発公社が米の生産調整のため滝下地区水田を買収する
同 41 (1966)	9月1日、町制施行・新生「小平町」発足 留萌工業高等学校開設 小平村農業学園開園 農業構造改善事業開始(富里地区)		
同 42 (1967)	天塩炭礦鉄道株式会社、新日本炭業株式会社経営の炭礦閉山(町内炭礦全山閉山) 農業構造改善事業による大型水田実現 天塩炭礦鉄道廃止 本郷小学校校舎完成 NHK小平テレビジョン中継局開局(平和) 小平町産米出荷十萬俵突破 鬼鹿母と子の家完成		
同 43 (1968)	大楸、折真布中学校を小平中学校に統合 東和小中学校を達布小・中学校に統合 川上、滝下地区でヒグマの一斉駆除実施(7頭捕獲) 鬼鹿家政高等学校開校 北海道百年記念植樹祭、スポーツ大会、開拓記念物展示会開催 小平町農協、優良農協として表彰される 小平保育園完成 小平町産米十五萬俵達成 共栄橋(沖内一平和)完成 9月、川上で1棟焼失、死者1名 小平町開基90年記念式典挙行	同 48 (1973)	
同 44 (1969)	小平町総合振興計画(44~48年度)発足 大楸小学校を小平小学校に統合 川上、滝下、達布地区でヒグマ7頭駆除 町史編さん事業始まる 達布小・中学校にプール完成 住吉公民館、達布福祉会館、本郷母と子の家落成 小平薬川のサケそ上調査で13匹捕獲 町役場本郷支所庁舎完成 富里に管内初のライスセンター完成 留萌青年の家体育館落成 大楸観世音橋、寧楽橋完成 低温により水稻に被害うつける 過疎地域の指定なる	同 49 (1974)	
同 45 (1970)	小平遺跡発掘調査実施 米の生産調整休耕田997haに達す 寧楽地区農業構造改善事業開始		

同 50 (1975)	達布幼稚園舎新築 字広富に三船殉難慰霊碑建立 全国自然休養村現地研修会開催 本郷、寧楽地域集団電話自動化なる 第1回農業祭開催 大般簡易郵便局廃止 達布診療所新築 重要文化財花田家番屋復元する 小平神社、小平薬神社合併	同 55 (1980)	全天候テニスコート完成 農村地域工業導入地区に指定 産業開発道路川上～霧立間貫通 中の沢林道工事完成 折真布小学校を本郷小学校に統合 小平町発展計画策定(目標1995年) 高砂遺跡緊急発掘調査開始 海洋センター武道館完成 川上地区農地開発事業始まる 稲作転換でビート栽培始まる(14ha) 鬼鹿小学校開校100年記念式典挙行 臼谷小学校・達布中学校舎新築完成 鬼鹿診療所新築工事完成 消防小平支署庁舎新築工事完成 旭新興団地宅地造成完成(60区画) 小平町商工会館完成 道々霧立小平線高砂こ線橋完成 沖内農道舗装工事完成 元浜に肉用牛共同飼育管理舎完成(国営等草地開発附帯事業) 国鉄再建法で羽幌線廃止案打ち出される
同 51 (1976)	望洋台スキー場で全道学生スキー選手権大会開催 大般地域集団電話自動化なる 小平町「青色申告と諸税完納の町」宣言 水田総合利用対策始まる 鬼鹿地区に自然休養村事業始まる、農林水産物直売施設完成 小平治水ダム着工 交通事故死ゼロ1,000日達成(10月9日) 達布地区農業構造改善事業完成 重要文化財花田家番屋仮オープン 小平町史発刊される 町制施行10周年合併20周年記念式典挙行 小平歯科診療所新築 本郷黄金橋完成 学校給食施設町立共同調理場完成 鬼鹿火葬場完成	同 56 (1981)	寧楽、本郷地域集団電話が一般自動化になる 豊浜小学校を鬼鹿小学校に統合 集中豪雨災害、降雨量280mmを記録(8月4日～6日) 小平小学校開校80周年記念式典挙行 「小平港」ミニサテライト局開設(鬼鹿) 小平診療所新築工事完成 達布簡易水道工事完成 鬼鹿支所新庁舎完成 達布集落センター完成 寧楽地区川上肉用牛集約生産基地完成 オンネハイランド団地宅地造成完成(12区画)
同 52 (1977)	達布局電話ダイヤルにかわる 滝下第二集落集団移転する 道営鬼鹿地区草地開発事業着工 オリエンテーリング望洋台コース完成オープン大会開催(JOLC公認) 滝下地区農業構造改善事業着工 沖内防災ダム着工 道営圃場整備小平地区(沖内)着工 第1回特産まつり開催 水稻町史上最高の豊作となる 小平町新庁舎竣工12月15日より執務始まる 花岡研修所完成	同 57 (1982)	大般地域集団電話が一般自動化になる 埋蔵文化財資料館オープン 旭大橋(旭2号線)完成 消防鬼鹿支署新築 日谷福祉会館完成 本郷集落センター完成 田代、大般地区小平町土地改良区に加入 特別養護老人ホーム「愛生園」開園 大般防災ダム調査着工 小平、幌加内線開発道路調査着工 防災無線電話施設完成 小平炭礦達布露天坑(空知炭礦)開始 吉住炭礦東坑(吉住炭礦)開始 鬼鹿漁港修築事業(第7次)着工 鬼鹿簡易水道拡張工事完成 小平本町ミニサテライト局開局 第一回鱒番屋まつり開催
同 53 (1978)	町発祥の地碑建立、町民憲章制定 町の木「イチイ」町の花「ツツジ」指定 開基百年記念式典挙行 東京都小平市と姉妹都市締結 タイムカプセルを埋設(2028年開扉) B&G海洋センター落成式 臼谷寿の家完成 第1回町民運動会開催 養殖用保管作業施設完成 沖内総合地域センター完成 小平市民まつりに初参加 郷土資料館完成 第1回郷土芸術祭芸能発表会開催 千松会館完成 道々霧立小平線高砂こ線橋着工	同 58 (1983)	知的障害者更生施設「更生園」開園 厚生省の「泰東丸」調査行われる(8月2日～9日) 小平薬川河畔で水防訓練実施 第3回定例議会でシートベルト着用を決議 上位等級米出荷率過去最高(55%) 小平・鬼鹿両消防団合併し小平消防団となる 役場達布支所・消防達布分遣所新庁舎落成 達布下記念別国国有林で「ふれあいの森林」記念植樹祭実施
同 54 (1979)	小平憩の家完成 全道勤労青少年ジャンボリー大会開催 折真布川河川改修着工 小平簡易水道拡張工事完成 町道旭2号橋架設着工 住吉生活改善センター完成 桑園、富岡、豊浜集会所完成	同 59 (1984)	
		同 60 (1985)	

同 61 (1986)	<p>名誉町民2人目に五十嵐庄治氏 ふれあいの森林記念碑を建立 鬼鹿歯科診療所完成 折真布集会所完成 バイオコール小平工場完成</p>	平成元 (1989)	<p>月) 全国初のイベント「サーモンフィッシングフ ェア in おびら 88」開催される (9~10月) 望洋台スキー場に夜間照明増設 (12月) 開基百十周年記念式典挙行</p>
同 62 (1987)	<p>行財政改革大綱決まる 交通安全祈願祭実施 小平診療所増築工事完成 町制施行 20 周年記念式典挙行 子ども一日議会開催 大椋道営防災ダム事業・かんがい排水事業起 工式 知的障害者更生施設「おにしか更生園」屋内 体育館完成 田代多目的集会施設完成 名誉町民・元町長五十嵐庄治氏勲四等瑞宝章 を受ける 59、60、61 年 3 年連続の大豊作</p>	同 2 (1990)	<p>農協青年部・婦人部設立 30 周年 (2月) 町無形文化財第 1 号に「鬼鹿神楽」(3月) 地籍調査開始 (4月) 交通事故死ゼロ 500 日達成 (6月 11 日) 望洋台キャンプ場に水洗トイレとバンガロー 設置 (7月) 高橋久美子さんが「はまなす国体」カヌー種 目で 2 冠達成 (9月) 管内最大の野菜類集出荷加工処理施設完成＝ カボチャ貯蔵施設 (9月) ふるさと創生事業により、島根県から繁殖素 牛 20 頭を導入 (9月) 「はまなす国体」管内炬火を当町の旧花田家 番屋前で採火 (10月) クビナガリュウの模型が完成し、役場ロビー と埋文資料館に展示 (11 月) 海洋センターに筋カトラニング機器が設置 される (3月) ホットコール小平工場閉鎖 (3月) 当町が山村と都市の交流表彰で国土庁長官表 彰受ける (3月) 小平ダムのシンボルマーク決まる (3月) ホタテ養殖資材洗浄施設が臼谷漁港南側に完 成 (4月) 町文化協会が「おびらのむかし」を発刊 (5 月) 支庁の枠をこえた小平町、沼田町、幌加内町 の 3 町が活性化のための三町広域振興協議会 を発足:全道初 (6月) 小平ダムの堤体 (長さ 475m、高さ 42.4m) が完成。(7月 11 日) 第 1 回おびらしへ湖ウォーキングフェスティ バル開催 (7月 1 日) 「いかす浜辺でラバンダ?」開催 (7月 28 日) 鯨番屋入館者 50 万人達成 (8月 5日) 山田久志氏を招いて青空スポーツ教室開催 (8月) 本郷小学校開校 90 周年・中学校 45 周年記 念式典 (10月 28 日) 鬼鹿幼稚園新園舎完成 (11 月) 交通事故死ゼロ五百日 5 度目の達成 (1 月 16 日) まちおこし講演会開催 (3月 22 日) おにしか更生園の増築完成、運営される (4 月) 留萌市小平会結成 5 周年記念ふれあいピアバ ーティー (5月) 鬼鹿漁港海岸環境整備事業はじまる (6月 4 日) 多目的運動広場改修工事完成＝水はけが今ま での数倍になる (6月 20 日) 第 1 回チビツピービーチトライアスロン大会が 鬼鹿海水浴場で開かれる (7月 21 日) 日本の伝統芸能「猿舞座公演」開かれる (9 月 20 日)</p>
同 63 (1988)	<p>国鉄羽幌線 3 月 29 日で廃止 3 月 30 日より代替バス運行開始 厚生省に保管されていた泰東丸の遺品が町に 引き渡される 水田農業確立対策 (第 3 期) はじまる ニシン 32 年ぶりの大漁 札幌交響楽団小平コンサート開催 広報「おびら」700 号 (62 年 6 月号) 小平ダムにかかる滝見大橋・中記念別橋が完 成し、渡橋式行う 鬼鹿で小平町初の「朝市」開催 「留萌市小平会」結成 小平ダム定礎式挙行 じんかい焼却炉完成 秋サケが大豊漁 商工会青年部結成 20 周年 昭和 62 年第 4 回定例町議会 (12 月 10~ 17 日) で『福祉のまち宣言』される 当町出身の阿部雅司さんが複合でカルガリー (カナダ) オリンピックに出場 (2月) 町教育目標制定 (3月) 新小平町発展計画策定 (3月) 星野万治さん (小平町) が町内全戸に交通安 全マスコット贈る (5月) 米消費拡大のため、役場で「米を食べる日」 実施 (5月) 郷土資料館に「泰東丸」の遺品展示 (5月) 鬼鹿公民館主催の異世代間交流会行われる (6月) 鬼鹿なぎさ俳句会 40 周年 (7月) 臼谷・鬼鹿にサニタリー施設 (近代的トイレ) 設置 (7月) 産業まつり前夜祭で、町では 22 年ぶりに花 火大会 (8月) 代替バス利用者のための待合所が昨年の 6 力 所に続き今年は 7 力所に設置 (8月) 8 月 25 日~26 日に集中豪雨 (被害総額 8 億円 超す) ブラジル青年が当町でホームスティ (9月) 川上地区でクビナガリュウの化石発掘される (9月) 小平~臼谷間の国道 4 車線化工事始まる (9</p>	同 3 (1991)	<p>月) 全国初のイベント「サーモンフィッシングフ ェア in おびら 88」開催される (9~10月) 望洋台スキー場に夜間照明増設 (12月) 開基百十周年記念式典挙行</p>

同 4 (1992)	<p>小平小学校・寧楽小学校開校 90 周年記念式典挙行 (10 月 6 日・27 日)</p> <p>小平ダムの堤体が完成し、試験たん水がはじまる (11 月 2 日)</p> <p>鬼鹿小学校開校 110 周年記念式典挙行 (11 月 4 日)</p> <p>当町で過去最高の一等米出荷比率 84.9% を記録</p> <p>小平歯科診療所が近代設備をもって新築完成 (11 月)</p> <p>当町出身の阿部雅司選手、アルペールビル冬季オリンピックのノルディック複合に出場 (2 月)</p> <p>初めての沿岸清掃作戦『日本海クリーンアップ』に千人を超える協力者 (5 月 29・31 日)</p> <p>旧花田家番屋入館者開館 16 年目に 60 万人を突破する (7 月 4 日)</p> <p>管内最初として開園した鬼鹿幼稚園が開園 20 周年を迎える (7 月 12 日)</p> <p>パフ・ファミリーコンサート (7 月 24 日)、ホルツプレザーアンサンブルコンサート (9 月 30 日) 開催され聴衆を魅了する</p> <p>20 数年の歳月を経て、待望の小平ダムが完成し、完成式が 9 月 25 日開かれる</p> <p>第 1 回全道ボートレース大会がおびらしべ湖で開かれる (9 月 12・13 日)</p> <p>おびらしべ湖、幌加内町朱鞠内湖、沼田町ホロビリ湖が全道でも珍しい姉妹湖の締結</p> <p>水産業界の念願であった漁獲販売取扱高 10 億円を突破 (9 月)</p> <p>小平町婦人活動 35 周年記念式典挙行される (11 月 29 日)</p> <p>道立高等養護学校建設が小平町に決定し (12 月 25 日) 当町鬼鹿地区が建設予定地になる (平 5 年 4 月)</p>	<p>(11 月 10 日)</p> <p>日谷と鬼鹿の国道沿いに観光看板設置 (11 月)</p> <p>鬼鹿で 94 初夢花火大会開催 (12 月 31 日)</p> <p>同 6 (1994)</p> <p>ノルウェーのリレハンメルで開催された第 17 回冬季オリンピックのノルディック複合団体競技で阿部雅司選手が、河野選手、荻原選手とともに金メダルの栄誉に輝き、個人戦でも 10 位に入る健闘 (2 月 18 日～24 日)</p> <p>小平漁協が合併創設 30 周年記念式典 (2 月 23 日)</p> <p>単身者住宅 (新興団地) 2 棟 12 戸完成 (3 月 25 日)</p> <p>更生園施設内で町特産品加工研究センター「クリエーションセンターういず」がオープン (4 月 1 日)</p> <p>リレハンメル冬季オリンピックのノルディック複合団体金メダリスト阿部雅司選手に「町民特別栄誉賞」が贈られる。同日に市中パレード、祝勝会も行われるとともに、各小中学校で記念講演会を開催 (5 月 6 日～7 日)</p> <p>旧花田家番屋入館者開館 18 年目に 70 万人を突破する (6 月 11 日)</p> <p>望洋台キャンプ場にオートキャンプサイト建設 (18 サイト)</p> <p>第 1 回オロロンラインるもい郷土芸能フェスティバル開催 (11 月 20 日)</p> <p>鬼鹿郵便局新庁舎オープン (11 月 28 日)</p> <p>同 7 (1995)</p> <p>小平町ウニ種苗生産施設落成 (2 月 16 日)</p> <p>デイサービスセンター、在宅介護支援センターオープン (3 月 20 日)</p> <p>沖内ダムが完成し、修ばつ式と記念碑の除幕式が行われる。(7 月 18 日)</p> <p>第 1 回オロロンライン・ミュージック・カーニバル開催 (8 月 26 日)</p> <p>新興団地宅地造成完成 (11 区画)</p> <p>交通事故死ゼロ五百日 6 度目の達成 (10 月 14 日)</p> <p>富里農作業準備休憩施設完成 (10 月 18 日)</p> <p>町のイメージキャラクター着ぐるみ「メロリン」「ぼたてちゃん」「リュウ吉くん」が完成</p> <p>望洋台ユースホステル閉鎖 (12 月 5 日)</p>
同 5 (1993)	<p>日本海百選に小平町の「旧花田家番屋」と「天狗の滝」が選定される</p> <p>小平小学校新校舎が完成 (2 月 26 日)</p> <p>当町出身のノルディック複合選手である阿部雅司選手に初の町民栄誉賞 (4 月 16 日)</p> <p>望洋台キャンプ場に炊事場、水洗トイレ、防犯灯などを増設 (6 月)</p> <p>愛生園が開園 10 周年の愛生園まつり (6 月 27 日)</p> <p>横路北海道知事が「ふるさと訪問」で更生園を視察 (7 月 12 日)</p> <p>第 3 回おびらしべ湖ウォーキングフェスティバルにあわせて第 1 回おびらしべ湖水と緑に親しむ会を開催 (7 月 25 日)</p> <p>B & G スポーツ大会北海道を開催 (7 月 28 日) 第 2 回全道ボートレース大会にノルディック複合の阿部雅司選手も出場 (8 月 8 日)</p> <p>小平インカルウシュベの丘で先住民をしのんで野焼きの集い (10 月 2 日)</p> <p>更生園が開園 10 周年を記念してハワイ旅行 (10 月 4 日～9 日)</p> <p>道々幌糠小平停車場線の中幌トンネル完成 (11 月 1 日)</p> <p>小平小学校新校舎落成記念式典 (11 月 7 日)</p> <p>小平漁協日谷支所と水産物荷さばき所完成</p>	<p>同 8 (1996)</p> <p>達布活性化センター完成</p> <p>百歳の誕生日を迎えた佐久間正氏に「百賀祝金」を贈る (3 月 20 日) (受給者第 1 号)</p> <p>小平郵便局と小平 (こだいら) 郵便局が友好姉妹郵便局提携を結び (3 月 25 日)</p> <p>鬼鹿地区字名改正 大字から字へ (4 月 1 日)</p> <p>旧花田家番屋周辺が建設省の道の駅に登録 (4 月 16 日)</p> <p>北海道小平高等養護学校落成・入学式 (4 月 17 日)</p> <p>交通事故死ゼロ七百日 3 度目の達成 (5 月 1 日)</p> <p>阿部雅司さんをたたえて望洋台スキー場に記念植樹 (5 月 25 日)</p> <p>道の駅「おびら練番屋」、食材供給施設オープン (5 月 26 日)</p> <p>にしん文化歴史公園「松浦武四郎翁」(北海道の名づけ親) の銅像除幕式 (5 月 26 日)</p>

	ウニ種苗 40 万粒、臼谷、鬼鹿沖に初放流(6月 25 日)		新小平トンネル建設工事着工(10 月)
	小平町文化交流センター建設工事着工(7月 1 日)		テレビ北海道(TVH)小平地区が受信可能(11 月 9 日)
	公共下水道整備工事着工(7 月 26 日)		消防小平支署作成「1998 年防火カレンダー」全国消防広報コンクール最優秀賞受賞(11 月)
同 9 (1997)	第 20 回産業まつりで新沼謙治歌謡ショー開催(8 月 25 日)		留萌市小平会チャリティー特別公演小平で開催(12 月 5 日)
	町制施行 30 周年記念式典挙行(9 月 1 日)	同 11 (1999)	印鑑証明書発行業務電算化(1 月 6 日)
	町内史跡等 4 カ所に跡標を建立(12 月 1 日)		町内初の YOSAKOI ソーランチーム「鬼鹿浮世童」誕生(2 月 9 日)
	フィンランド政府公認のサンタクロース小平を訪問(12 月 13 日)		農協青年部・女性部設立 40 周年記念式典挙行(2 月 16 日)
	行政改革大綱策定(2 月 26 日)		健康福祉センター完成(改修)(3 月 3 日)
	達布診療所閉鎖(3 月 31 日)		単身者住宅(第 2 新興団地) 2 棟 12 戸完成(3 月 5 日)
	自然休養村センター閉鎖(3 月 31 日)		小平高等養護学校初めての卒業式(3 月 7 日)
	初の交通安全住民大会開催(4 月 11 日)		小平町開基 120 年記念ビデオ完成(3 月 24 日)
	小平町総合交流ターミナル施設建設工事着工(6 月 5 日)		達布中学校が閉校し小平中学校へ統合(3 月 31 日)
	初の国際交流のつどい開催(6 月 28 日)		達布幼稚園閉園(3 月 31 日)
	野菜集出荷予冷施設完成(8 月 9 日)		滝下の曾我部健氏水田が平成 11 年度献穀田に(5 月~9 月)
	町史編さん委員会設立(8 月 27 日)		小平メロンワインが製品化(6 月)
	大般地区開拓 100 年記念式典挙行、記念碑「豊翠郷」建立(9 月 11 日)		初めての中国人女性農業研修生 3 人来町(5 月)
	全国和牛能力共進会で桑園小野重義氏飼育の「もんまさ 2 の 8 号」が優等賞に輝く(9 月)		おびらしべ湖森と湖に親しむフェスティバル手漕ぎボートレース大会開催(7 月 18 日)
	小平中学校・鬼鹿中学校・達布中学校開校 50 周年記念式典挙行(10 月 25・26・11 月 2 日)		重要文化財「旧花田家番屋」入館者数 100 万人達成(7 月 22 日)
	登窯・陶工房おびら完成(11 月 20・26 日)		第 27 回北海道消防操法訓練大会で小平消防団が小型ポンプ操法の部で準優勝(7 月 22 日)
同 10 (1998)	望洋台スキー場ヘアリフトに改修(12 月)		ごみの分別収集試行開始(8 月 2 日)
	町内史跡等 5 カ所に跡標を建立(12 月)		初めての小平町慰霊祭挙行(8 月 19 日)
	商工会青年部 30 周年記念式典挙行(12 月 7 日)		おびら議会だより創刊号発行(9 月 1 日)
	小平町行政手続条例施行(1 月 1 日)		百歳の誕生日を迎えた西山トキ氏に「百賀祝金」を贈る(受給者第 3 号)(9 月 24 日)
	長野県で開催された第 18 回冬季オリンピックで当町出身の滝下靖之選手、大高友美選手が健闘(2 月 7~22 日)		小平町産米「ほしのゆめ」の小平市民向け予約販売始まる(9 月)
	小平町総合計画策定(3 月)		新嘗祭に献上する献穀米抜穂祭が曾我部健氏(字達布)の圃場で行われる(9 月 8 日)
	平成 10 年第 1 回定例町議会(3 月 10~20 日)で「交通安全宣言のまち」を宣言		99 北海道化石サミット開催(10 月 21・22 日)
	百歳の誕生日を迎えた藤田コヨ氏に「百賀祝金」を贈る(受給者第 2 号)(3 月 22 日)		町内郵便局と道路情報提供サービス・災害時における協力を締結(11 月 19 日)
	小平百話編集委員会設立(5 月 11 日)		道々霧立小平線霧平トンネル開通(12 月 8 日)
	交通事故死ゼロ五百日 7 度目の達成(6 月 16 日)		小平町農産加工品生産研究施設完成(12 月)
	文化交流センターオープン、山田千秋ヴァイオリンコンサート開催(8 月 1 日)	同 12 (2000)	“春よ来い”達布ふれあい雪まつり開催(3 月 5 日)
	総合交流ターミナル施設「ゆったりかん」オープン(8 月 21 日)		小平町に初めての新規就農者研修に入る(3 月 21 日)
	登り窯「北創窯」初窯火入れ式挙行(8 月 27 日)		小平百話刊行(3 月)
	小平町・小平市姉妹都市締結 20 周年記念式典挙行(8 月 30 日)		交通事故死ゼロ五百日 8 度目の達成(4 月 30 日)
	小平市無形民族文化財「鈴木ばやし」公演開催(8 月 30 日)		望洋台キャンプ場にバンガロー(10 棟)、オートサイト(16 棟)が増設される。(6 月)
	開基 120 年記念式典挙行(9 月 1 日)		町内郵便局と「こども 110 番」協定を締結(7 月 6 日)
	東京鬼鹿会から寄贈されたモッコを背負う女像除幕式挙行(9 月 1 日)		
	下水道終末処理場小平処理区着工(9 月 15 日)		
	住民票発行業務電算化(10 月 21 日)		

	<p>おにしかツインビーチオープン（7月8日） 下水道小平地区供用開始（10月1日） 共栄橋が完成し、テープカット式が行われる（10月18日） 鬼鹿中学校グラウンド改修工事完成（10月20日） 小平浄化センター通水式が行われる（10月31日） 本郷小学校開校100周年、本郷中学校開校55周年記念式典挙行（11月4日） 達布いきいきデイサービスセンター「たっぶりかん」完成（旧達布幼稚園を改修）し、冷泉を利用した浴室を備える（11月9日）</p>	
同 13 (2001)	<p>小平幼稚園舎改築工事完成（3月9日） 本郷保育園が園児数の減少で閉園し、小平幼稚園へ統合（3月17日） 臼谷地区ホタテ共同利用施設完成（3月29日） 下水道臼谷地区供用開始（4月1日） 小平町特産作物試験圃場開園式及びワイン用ぶどう植栽式（5月10日） ワイン用ぶどうオーナー募集開始（6月27日） 留萌南部森林管理署達布事務所が廃止（8月1日） 小平町交通安全協会創立50周年記念碑建立除幕式（9月10日） JA広域合併仮調印式（10月4日） 旧花田家番屋が北海道遺産に認定される（10月22日） 小平小学校開校100周年記念式典挙行（10月28日） 鬼鹿小学校開校120周年記念学習発表会（11月18日） 新火葬場建設地決定を留萌市と共同記者発表（11月28日）</p>	<p>（9月2日） 交通事故死ゼロ500日9度目の達成（9月29日） 小平町体育協会創立40周年記念式典挙行（10月10日） 大槻防災ダム修繕式及び竣工祝賀会挙行（11月1日） 平成11年度から14年度の間で公営住宅（汐見団地）8棟16戸が新築建替完了（11月15日） 寧楽小学校開校100周年記念式典挙行（11月17日） 高規格救急自動車運用開始式（12月20日） 鬼鹿火葬場廃止（1月31日） 小平漁協本所荷捌施設及び本所事務所新築落 下水道終末処理場鬼鹿処理区着工記念式典（3月13日）並びに合併解散総会（3月15日） 下水道小平処理区管工事完成（3月31日） 新星マリン漁業協同組合発足（4月1日） 小平町立知的障害者授産施設「ほっぷすてっぷ」開設（4月1日） 高齢者グループハウス「はまなす荘」開設（4月1日） 鬼鹿地区ホタテ養殖作業舎完成（9月1日） 留萌南部三市町任意合併協議会発足（10月1日） 留萌消防組合本部がドクターヘリ運航協定を締結し、事故発生時にドクターヘリの要請が可能となる（11月25日） メロン栽培30周年記念式典挙行（12月4日） 小平トンネル開通式（12月19日）</p>
同 14 (2002)	<p>南るもい農業協同組合発足（2月1日） ソルトレークシティ冬季五輪代表で当町出身の滝下靖之さんが望洋南大回転競技大会のデモンストレーション滑走及びサイン報告会のため来町（2月24日） 町内郵便局と高齢者への生活状況確認業務委託を締結（2月27日） 高齢者グループハウス「やすらぎ荘」（旧小平幼稚園を改修し、供用部分として活用）完成（3月20日） 寧楽保育園が園児数の減少で閉園し、小平幼稚園へ統合（3月22日） 留萌市・増毛町・小平町「一般廃棄物の広域処理に関する協定書」調印式（3月28日） 組合立留萌青年の家を廃止（3月31日） 一般廃棄物最終処分場供用開始（4月1日） 高齢者グループハウス「やすらぎ荘」開設（4月1日） 留萌市美サイクル館へ生ごみ、可燃ごみ及び資源ごみの一部を搬入開始（4月1日） 公共下水道鬼鹿地区工事着工（5月28日） 鬼鹿パークゴルフ場オープン（8月1日） 小平町と東京都小平市が「姉妹都市災害時相互応援協定」を締結（8月24日） 留萌漁協・小平漁協合併仮契約調印式</p>	<p>同 15 (2003)</p> <p>同 16 (2004)</p> <p>交通事故死ゼロ千日達成（2月11日） 臼谷保育園が園児数の減少等で閉園し、小平幼稚園へ統合（2月29日） 知的障害者更正施設「おにしか更生園」開校20周年記念式典挙行（5月1日） 留萌南部三市町任意合併協議会が法定協議会に移行（7月） 三船遭難慰霊歌碑建立除幕式が行われる（8月21日） 台風18号による暴風（最大瞬間風速43.9mを記録）により、町内全域で被害甚大（9月8日） 留萌管内過去最大規模の留萌支庁南部地震（M6.1）発生により、鬼鹿地区を中心に大きな被害を受ける（12月14日）</p>
	<p>同 17 (2005)</p>	<p>留萌南部三市町合併法定協議会解散（2月） 達布小学校が閉校し、小平小学校へ統合（3月31日） NHKテレビ・ラジオで、津波警報発令時の避難指示・避難勧告の放送開始（6月6日） 小平町行政改革推進委員会発足（6月8日） 地域FM局「エフエムもえる」と災害緊急時非常放送協定を締結（6月30日） 樺太引揚三船遭難60周年追悼式が行われ、最後の慰霊祭となる（8月21日） 第25回北海道肉用牛共進会で山口晴己氏飼育の「やすたにかつ号」が最高位賞に輝く（9月6日）</p>

同 18年(2006)	<p>俳誌「青女」を主宰する新明紫明氏の句碑建立除幕式が行われる(9月25日)</p> <p>留萌・小平町土地改良区合併予備調印式が行われる(11月25日)</p> <p>小平町商工会女性部結成30周年記念式典が執り行われる(12月4日)</p> <p>寧楽架替工事完成記念式典が執り行われる(12月8日)</p> <p>旧花田家番屋が歴史文化財産百選に選定される(2月22日)</p> <p>小平中学校校舎完成(3月16日)</p> <p>公共下水道鬼鹿地区供用開始(3月31日)</p> <p>本郷小学校が閉校し小平小学校へ統合(3月31日)</p> <p>本郷中学校が閉校し小平中学校へ統合(3月31日)</p> <p>都市農村交流施設「ゆうゆうそう(夕遊創)」オープンセレモニーが執り行われる(4月29日)</p> <p>小平町防犯協会の地域見守り活動事業「小平っ子みまもりたい」「こども110番の家」発足式が行われる(7月12日)</p> <p>曾我部孝男氏(字達布)が瑞宝単光章を受章(8月11日)</p> <p>町制施行40周年及び第30回小平町産業まつりを祝し、5年ぶりに前夜祭が復活し、メモリアル花火大会が行われる(8月26日)</p> <p>第20回の節目を持って、日本海オロロンライントライアスロン国際大会が終焉(8月26日)</p> <p>ツール・ド・北海道国際大会2NDステージが行われる(9月15日)</p> <p>小平町出身の黒滝将人くん(札幌日大高)が高校生ドラフト会議で千葉ロッテマリーンズから3順目指名を受ける(9月25日)</p> <p>第1号となる小平産ぶどうワイン「オー・ピラージュ」が町内販売開始(10月2日)</p> <p>小平中学校校舎落成式挙行(11月13日)</p>	<p>小平町商工会青年部結成40周年記念式典が執り行われる(2月16日)</p> <p>臼谷小学校が閉校し、小平小学校へ統合(3月31日)</p> <p>鬼鹿地区学校給食センターが業務を終了し、小平共同調理場へ統合(3月21日)</p> <p>「新福祉バス」納車式が執り行われる(4月14日)</p> <p>重要文化財「旧花田家番屋」入館者数130万人達成(6月21日)</p> <p>おにしかツインビーチ「オープンビーチ」が完成し全面供用が始まる(7月12日)</p> <p>第28回全国豊かな海づくり大会で新星マリン漁業協同組合鬼鹿なまこ部会が最高賞の大会長賞に輝く(9月7日)</p> <p>南るもい農業協同組合小平支所裏の農業倉庫で玄米用色彩選別施設の完成修ばつ式と始動式が執り行われる(9月12日)</p> <p>寧楽地区道営防災ダムの完成修ばつ式が執り行われる(10月30日)</p> <p>第10回米・食味分析鑑定コンクールの品種別「ほしのゆめ・つがるロマン・キララ397・ななつぼし部門」において、岩倉晃さん(字大楸)栽培の「ななつぼし」が最高賞の金賞を受賞(11月25日)</p> <p>平成20年度北海道枝肉共励会の黒毛和牛の部で、小平牛肥育組合飼育の黒毛和牛が最高位的最優秀賞に輝く(11月29日)</p>
同 21年(2009)	<p>ツール・ド・北海道国際大会2NDステージが行われる(9月15日)</p> <p>小平町出身の黒滝将人くん(札幌日大高)が高校生ドラフト会議で千葉ロッテマリーンズから3順目指名を受ける(9月25日)</p> <p>第1号となる小平産ぶどうワイン「オー・ピラージュ」が町内販売開始(10月2日)</p> <p>小平中学校校舎落成式挙行(11月13日)</p> <p>小平町防災行政無線設備完成(3月1日)</p> <p>寧楽小学校が閉校し、小平小学校へ統合(3月31日)</p> <p>町内公共施設6箇所にAED(自動体外式除細動器)を設置(6月6日)</p> <p>「フォトギャラリー望洋」オープンセレモニーが執り行われる(6月16日)</p> <p>小平町少子化対策検討委員会が発足(9月3日)</p> <p>第26回北海道肉用牛共進会で小平町和牛生産改良組合飼育の3頭の黒毛和牛が最高位賞に輝く(9月9日)</p> <p>緊急地震速報がスタート(10月1日)</p> <p>小平町堆肥製造センターが稼働開始(11月1日)</p> <p>佐藤善美氏(字臼谷)が瑞宝双光章を受章(11月)</p>	<p>関口英康さん(字富里)が平成20年度全国そば優良生産表彰式「農業の部」最高賞となる農林水産大臣賞を受賞(3月13日)</p> <p>「臼谷弁才天碑」が町有形文化財第1号に指定(4月1日)</p> <p>第38回全道消防救助訓練大会で留萌消防組合消防署小平支署チームが優勝(7月18日)</p> <p>留萌地方石油業協同組合と「災害時における燃料等の供給の協力に関する協定」を締結(7月28日)</p> <p>旧達布小・中学校の校舎解体工事を前に校舎見学会が開催される(9月13日)</p> <p>南るもい農業協同組合小平支所裏の農業倉庫で精米・製粉施設の完成修ばつ式と始動式が執り行われる(9月15日)</p> <p>秋野達雄氏(字鬼鹿港町)が文部科学大臣表彰(地方教育行政功労)を受賞(10月15日)</p> <p>町、北海道開発局留萌開発建設部、北海道コカ・コーラボトリング(株)の3者による「おしらせ道ねっと」協定書手交式が執り行われる(10月28日)</p> <p>山田信一氏(字臼谷)が藍綬褒章(統計調査功績)を受章(11月)</p> <p>飯田信昭氏(字達布)が瑞宝単光章を受章(11月)</p>
同 20年(2008)	<p>当町出身の長田愛未さんが第57回全国高等学校スキー大会アルペン女子大回転で初優勝(2月4日)</p> <p>北海道コカ・コーラボトリング(株)と災害対応型自動販売機協定を締結(2月7日)</p>	<p>留萌消防組合小平消防団が消防庁長官表彰を受賞(3月5日)</p> <p>桑原建治氏が旭日単光章を受章し、伝達される(4月5日)</p> <p>故塚田芳雄氏が正六位瑞宝双光章を受章し、伝達される(5月17日)</p>

	<p>小平町商工会創立50周年記念式典が執り行われる(5月19日)</p> <p>町内の幼稚園、小・中学校で町産米粉を使ったパン給食が始まる(5月20日)</p> <p>JA 共済連北海道と南るもい農業協同組合により交通安全車が町に贈呈される(6月4日)</p> <p>旧本郷小・中学校の校舎解体工事を前に校舎見学会が開催される(9月19日)</p> <p>町防犯協会達布支部により達布地域防犯パトロール隊が結成される(10月25日)</p> <p>運上光彦氏が、国指定重要文化財「旧花田家番屋」の名誉館長に就任(12月3日)</p>		<p>高齢者送迎サービスぬくもり号が廃止され、小平町デマンドバスの運行が開始される。(10月1日)</p> <p>小平町ががん予防功労者表彰を受賞(11月4日)</p> <p>土佐誠一氏(鬼鹿地区)が瑞宝単光章を受章(12月5日)</p>
同 23年(2011)	<p>元女子スキージャンパーの山田いずみさんを講師に、鬼鹿小学校開校130周年記念特別道徳授業が行なわれる(2月17日)</p> <p>坂本豊氏が旭日双光章を受章し伝達される(3月29日)</p> <p>改築した小平診療所が診察開始(4月1日)</p> <p>道道留萌小平線開通(5月17日)</p> <p>高齢者日常生活サポート事業「ぬくもり号」運行開始(7月1日)</p> <p>小平消防団が北海道消防操法(小型ポンプ操法)訓練大会で初優勝(7月14日)</p> <p>三口勇一氏が第13回米・食味分析鑑定コンクールの都道府県選抜代表お米選手権部門で最高賞の金賞受賞(11月22日)</p>	同 27年(2015)	<p>小平町立鬼鹿中学校にて閉校式・惜別の会が行われる(2月21日)</p> <p>小平町立鬼鹿中学校が閉校、小平町立小平中学校へ統合(3月31日)</p> <p>「小平町観光交流センター」がオープン。セレモニーが行われる。(4月27日)</p> <p>今年度100歳となる工藤タカさんへ内閣総理大臣百寿祝状が伝達される。(9月15日)</p> <p>おびら太鼓麓龍の25周年記念公演「たっぷりと」が行われる(9月26日)</p> <p>長岡勇起夫氏が消防長官表彰を受章(3月23日)</p> <p>故西埜克明氏に旭日単光章が伝達される(6月15日)</p> <p>角谷博美氏が瑞宝単光章を受章(6月15日)</p> <p>第1回おびら道の駅まつりが開催される(10月9日)</p> <p>川原時太郎氏に内閣総理大臣百寿祝状が伝達される(10月11日)</p> <p>小平町町制施行50周年記念式典が実施される(11月3日)</p> <p>山口晴己氏に瑞宝単光章が伝達される(12月16日)</p>
同 24年(2012)	<p>約400名参加による小平地区防災訓練実施(9月2日)</p> <p>小平町体育協会設立50周年式典開催(10月3日)</p> <p>小平・幌加内・沼田の3町広域振興協議会による防災協定締結(12月20日)</p>	同 28年(2016)	<p>故西戸勝美氏に旭日単光章が伝達される(12月29日)</p> <p>小平高等養護学校木工課2年の熊本小葉美さんが2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会へ出場(3月14日~25日)</p> <p>小平消防団が消防庁長官表彰を受章(3月23日)</p> <p>セブンイレブンジャパンと「地域見守り活動に関する協定」並びに「災害時における応急生活物資供給の協力に関する協定」が締結される(3月28日)</p> <p>6年ぶりにタコ箱漁オーナーが復活し抽選会が行われる(5月19日)</p> <p>農業委員が改選される(7月20日)</p> <p>斉藤晃さんと松本省二さんが社会福祉事業関係功労者として留萌振興局長表彰を受章(10月4日)</p> <p>新谷幸男氏に瑞宝単光章が伝達される(12月11日)</p>
同 25年(2013)	<p>留萌警察署・留萌市・増毛町・小平町による暴力団等の排除に関する合意書調印式(3月7日)</p> <p>石黒勝己氏が旭日双光章を受章し伝達される(5月31日)</p> <p>留萌振興局・留萌南部森林組合・小平町による森林経営計画の共同作成による一般民有林と道有林の共同出荷の検討に関する覚書締結(6月28日)</p> <p>南るもい農協米貯蔵施設完成竣工式(9月5日)</p> <p>町立小平歯科診療所の渡部敏行所長が、国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞(11月13日)</p> <p>五十嵐正孝氏(小平地区)が瑞宝単光章を受章(12月4日)</p>	同 29年(2017)	<p>鬼鹿小学校新校舎落成式典が行われる(1月26日)</p> <p>杉本庄次氏に旭日単光章が伝達される(5月28日)</p> <p>山内裕議員に北海道町村議会議長会より表彰状が伝達される(6月15日)</p> <p>サッカーワールドカップ日本戦予選リーグミズダコ占いにて、ラビオ君が全試合的中させ話題になる(6月29日)</p> <p>大雨により国道232号花岡~大楯にて土砂崩れが発生し3日間通行止めとなる(7月6日)</p>
同 26年(2014)	<p>本郷地区老人クラブ亀鶴会の創立50周年記念祝賀会が行われる。(1月15日)</p> <p>山内祐司氏が高齢者叙勲を受賞。(3月27日)</p> <p>近江基輝氏が消防長官表彰を受賞。(3月27日)</p> <p>第1回臼谷花火まつりが開催される(7月6日)</p>	同 30年(2018)	

中村勝氏に旭日単光章が伝達される（7月24日）

北海道胆振東部地震（震度3）が発生し、全道的にブラックアウトした。電力復旧までに24時間以上かかる（9月6日）

今年度 100 歳を迎えた瀬川ヨシエ氏、中井はな氏、五十嵐アヤ氏に内閣総理大臣百寿祝状が伝達される（9月19日）